

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		11,847	100	12,724	71	120	87	6	0.1	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産は、12月の寒波で出荷量が減少、また、12月中旬の強風の影響で葉傷みが見られ品質低下が懸念される。今後の天候にもよるが1月の出荷量は少なかった前年並の見込み。神奈川産は作付面積は減少傾向、12月から低温でやや小ぶり傾向。1月の出荷量は前年がやや不作であったことから、前年よりは多いものの、平年よりはやや少ない見込み。全体の入荷量は少なかった前年並、価格は平年並の見込み。
にんじん		6,700	110	7,383	141	70	98	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉、埼玉産ともに寒波の影響もなく肥大も良好で、不作であった前年を上回る出荷となる見込み。西日本では近年にない降雪の影響で出荷量が大幅に減少し、関東産地からの転送等が増加していることから、都内の入荷量・価格にもかなり影響がでている。今後の天候次第ではあるが1月中旬以降は回復してくるものと予想され、1月全体の入荷量、価格はほぼ平年並の見込み。
はくさい		12,402	100	13,721	57	100	51	-	-	茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は低温の影響でやや小玉傾向となっているが、生育は概ね順調で出荷量は前年並の見込み。冷え込みの影響で需要も上向いており、価格は堅調に推移している。全体の入荷量、価格ともほぼ平年並の見込み。
ほうれんそう		1,675	110	1,994	474	96	478	1	0.1	群馬、埼玉、茨城、千葉の関東産中心の入荷で全体の約9割を占める。群馬産は低温の影響で出荷量は減少しており、1月中旬頃までは平年をやや下回る見込み。埼玉産も低温の影響で生育が停滞しており、12月は前年比60%の出荷ペースとなっているが、1月は順調な出荷の見込み。全体の入荷量は不作であった前年をやや上回り、価格は、高値であった前年をやや下回る見込み。
キャベツ類		10,799	110	12,674	130	90	109	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知産は低温、降雪の影響で生育が遅れているが作柄は問題なく、今後の天候次第ではあるが、1月中旬以降増量してくる見込み。千葉産は、10月の日照不足、12月の低温、乾燥の影響で生育が遅れているが、1月中旬以降にはほぼ回復する見込み。全体の入荷量は不作であった前年を上回り、価格は高騰した前年を下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ねぎ		5,122	100	5,246	242	96	213	18	0.4	千葉、埼玉など関東産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は、低温の影響で生育が止まっており出荷ペースは遅れ気味となっているが、1月は回復しほぼ前年並の出荷となる見込み。埼玉産の生育は順調で、1月の出荷は前年を上回る見込み。全体の入荷量はほぼ前年並、価格は高値であった前年を下まわるものの前年よりは高値相場となる見込み。
レタス類		6,100	105	6,934	209	105	293	-	-	静岡、香川産が市況をリードする。静岡産は11月以降の干ばつと寒波の影響で生育・玉伸びが遅れているが、1月は回復し出荷量は不作であった前年をやや上回る見込み。香川産は寒波により生育が止まっている状況。気温が上がれば数日で回復することから、1月の出荷量は少なかった前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値反動で低迷した前年をやや上回る見込み。
きゅうり		5,197	98	5,424	315	105	379	-	-	千葉を中心とした関東産と宮崎、高知などの暖地産が市況をリードする。千葉産は生育の遅れがみられるものの概ね順調で、1月は前年並の出荷となる見込み。暖地産は低温の影響で生育が遅れており、出荷量は前年をやや下回る見込み。全体の入荷量は少なかった前年並、価格は反動安となった前年をやや上回る見込み。
なす		1,695	100	1,838	383	102	420	-	-	高知産中心の入荷で全体の約8割強を占める。高知産は低温の影響で生育やや遅れているものの、1月の出荷はほぼ前年並の見込み。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並の見込み。
トマト		4,569	100	5,091	404	105	340	-	-	熊本、愛知、千葉、静岡中心の入荷で全体の約7割を占める。熊本産は寒波の影響で着色が進まず遅れており、1月の出荷も少なかった前年並の見込み。愛知産は現在低温の影響で例年の50%の出荷ペースであるが、1月にはほぼ回復し前年並の見込み。千葉産は着果不良により前年をやや下回り、不作であった前年並の見込み。静岡産は着色も進んできており、ほぼ前年並の出荷となる見込み。全体の入荷量は少なかった前年並、価格は高値であった前年をさらに上回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ピーマン		1,430	102	1,397	485	100	569	-	-	茨城、宮崎、高知産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は低温ではあるものの加温栽培が中心となるため、ほぼ前年並の出荷となる見込み。宮崎、高知産は低温の影響は多少あるものの生育は概ね順調で、ほぼ前年並の出荷となる見込み。全体の入荷量、価格は前年並の見込み。
ばれいしょ		7,356	95	7,407	110	100	112	-	-	北海道、長崎産中心の入荷で全体の約9割強を占める。北海道産は、春先の低温・干ばつの影響によりやや小玉傾向で、出荷量は少なかった前年並。長崎産は生育期の高温・乾燥の影響で生育不良、小玉傾向で出荷量は前年を下回る。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。
たまねぎ		8,661	100	9,100	104	88	86	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は小玉傾向ではあるが、品質は良好。全体的に入荷量は前年並、価格はやや小玉のため前年を下回る見込み。